

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 2 区分
 【発行日】平成 19 年 2 月 8 日 (2007.2.8)

【公開番号】特開 2004-207731 (P2004-207731A)
 【公開日】平成 16 年 7 月 22 日 (2004.7.22)
 【年通号数】公開・登録公報 2004-028
 【出願番号】特願 2003-423432 (P2003-423432)
 【国際特許分類】

H 0 1 L 21/306 (2006.01)

【F I】

H 0 1 L 21/306 N

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 12 月 18 日 (2006.12.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

集積回路デバイスの製造方法であって、a) 1 つ以上のリフトオフ層を基体上に配置するステップと、b) 架橋コーティングの 1 つ以上の層を前記リフトオフ層上に配置するステップと、c) 前記基体にパターン形成するステップと、d) 前記コーティングおよびリフトオフ層を除去するステップとを含み、前記基体は、強誘電性ポリマー、誘電材料、またはその両方の 1 つ以上の層を含み、前記誘電材料は誘電率 3 を有し、前記リフトオフ層は有機ポリマー材料である製造方法。

【請求項 2】

前記リフトオフ層がポリグルタリミドを含む請求項 1 記載の方法。

【請求項 3】

前記ポリグルタリミドが 50,000 の分子量を有する請求項 2 記載の方法。

【請求項 4】

前記リフトオフ層が光吸収性材料をさらに含む請求項 1 から 3 のいずれか 1 項記載の方法。

【請求項 5】

前記リフトオフ層が架橋ポリマー粒子を含む請求項 1 から 4 のいずれか 1 項記載の方法。

【請求項 6】

前記誘電材料が 2.8 の誘電率を有する請求項 1 から 5 のいずれか 1 項記載の方法。

【請求項 7】

前記リフトオフ層が、溶剤との接触によって除去される請求項 1 から 6 のいずれか 1 項記載の方法。

【請求項 8】

前記リフトオフ層が 2500 の厚さを有する請求項 1 から 7 のいずれか 1 項記載の方法。

【請求項 9】

強誘電性ポリマー、誘電率 3 を有する誘電材料、またはその両方の 1 つ以上の層と、1 つ以上のリフトオフ層と、前記リフトオフ層上の架橋コーティングの 1 つ以上の層とを含む集積回路デバイスであって、前記リフトオフ層が有機ポリマー材料である集積回路デ

バイス。

【請求項 10】

誘電材料が、誘電率 3 を有する請求項 13 記載の集積回路デバイス。